



THE Y'S MEN'S CLUB OF AIZU
会津ワイズメンズクラブ
CHARTERED ON FEB. 1993



《 例会 》 毎月第2水曜日 19:00~21:00 若松栄町教会 (☎ 0242-27-3944)

2017~2018 年度主題

国際会長	「国境なき友情」
アジア地域会長	「ワイズ運動を尊重しよう」
東日本区理事 栗本治郎 (熱海)	「広げよう ワイズの仲間」
北東部部長 鈴木伊知郎 (宇都宮東)	「明日のために、いま土台を築こう」
会津クラブ会長 青山孝男	「新しい可能性を秘めて、共に歩もう！」

<No.274 会津通信>
2018年2月21日発行

会 長	青山孝男
副会長	高橋眞美
書 記	高橋真人
会 計	高橋真人

◇2月の聖句◇

平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。

マタイ福音書5章9節

2月例会プログラム

日時；2018年2月21日(水)19:00~

会場；高橋力宅

司会；高橋眞美さん

- | | |
|---------------------------------------|--------|
| 1. 開 会 点 鐘 | 青山孝男会長 |
| 2. ワイズソング | 一 同 |
| 3. 会長あいさつ | 青山孝男会長 |
| 4. 連 絡・報 告 | |
| 5. 聖 句 朗 読 | |
| 6. 食前感謝 | |
| 7. 会 食 | |
| 8. Happy Birthday! Happy Anniversary! | |
| 9. 閉 会 点 鐘 | 青山孝男会長 |

<1月例会出席状況>

在 籍 者 5名 ゲスト0名

出 席 者 5名

*例会出席率 80%

あ か べ こ 5,000 円

17-18 年度合計 20,000 円

声をあげ、行動を広げて。

高橋眞美

2017年のノーベル平和賞は「核兵器廃絶国際キャンペーン」(ICAN)が受賞しました。このニュースに私は「やった!」と小躍りしてしまいました。自分が受賞したわけでは無いのですが…



でも「真珠の会」の創設以来、「核」にまつわる課題をテーマに学び、展示、映画上映にと活動して来たことは間違いではなかったことを改めて確認したのでした。

1992年の秋に本当に思いがけないことから、あの「焼き場に立つ少年」を撮影したジョー・オダネルの原爆写真展を、若松栄町教会の創立100年を祝う行事の一つとして企画しました。その時、彼が撮った被爆して焼け爛れた脊中の少年が見つかったとの情報が入り、長崎まで逢いに行きました。その少年が、亡くなるまで「赤い背中」の画像を掲げ被爆体験を語り続けた谷口稜嘩(すみてる)さんでした。

彼の現役時代の6代のアメリカ大統領の専属カメラマンとして働いていたこと、しかし、その間に50回以上の手術をしなければならなかった事、そのあまりの辛さにうつ状態になったことなどを、写真展の合間に話をするジョーがいました。さらにジョーの話は続きます。

☆ 強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う。 ☆

体調が優れない中で、旅行中宿泊した修道院の礼拝堂の十字架に、被爆し炎の中で苦しむ人々の姿を見たとき、あの長崎で自分のカメラで撮った写真のことを思い出したのです。この時から彼の原爆写真展の活動が始まったのです。

私は原爆投下後の長崎に入ったジョーが、生涯その後遺症に悩み続けたにもかかわらず、原爆の「悪」を伝える姿に心が動かされたのです。それ以来、「核」に関わる方々との出会いが始まりました。日本の中で「写真家6人・核・を問う」の一人 森住 卓氏、10年以上「核」の被害の真実を追い求めている南海放送のディレクター 伊東英明氏、そしてビキニ水爆実験の真相をと室戸の漁師たちの聞き取りに動き出した東京在住の川口美沙さんと、この十数年「核」を軸に生きて来たようにおもいます。そしてこの春 ICAN の日本運営委員の川口 哲氏との出会いでした。6月に彼をお迎えし核廃絶、核兵器廃絶に向けて進める道を見つけられたらと期待しています。さあ！こえをあげ、行動広げていきましょう。

(次回は高橋真人さん)



2月報告(東日本区より抜粋)

みんなのCS写真コンテスト

地域奉仕委員会ではEMCの一助になればと「CS写真コンテスト」に合わせて随時写真の募集をしております。ブリテンを拝見する様子では各クラブでは熱心に活動されているようですので、お写真は蓄えられていらっしゃると思います。コンテスト本選を楽しみにしております。ただ冒頭に申し上げたようにEMC一助のための広報的意味合いもございますので、情報が新鮮なうちにお届け頂けるものもあると幸いです。過去の実績を称えるのは当然ですが未来に向かって、今発信したいものもあるのではないのでしょうか。CS委員会は外側に向いている委員会です。是非よろしくお願い致します。

東日本区後期半年報 後期半年報の集計

会員数884名での後期スタートです。
入会者24名、退会者(逝去を含む)26名で2名の減でした。
部名 2017.1.1 2017.7.1 2018.1.1 直近増減
北海道部 50 51 51 0 北東部 142 138 138 0 関東東部 133 131 128 -3 東新部 96 90 90 0 あずさ部 183 174 176 2 湘南 沖縄部 123 115 108 -7 富士山部 190 187 193 6 東日本区計 917 886 884 -2 各

部とも会員増強の機運は高くなっておりますが、集計の結果、残念ながら大変厳しい状態が続いております。

部エクステンション委員会も各部でスタートしておりますが、新クラブ誕生までには、まだしばらく時間がかかるとおられます。会員増強の基本は新会員の獲得です。1クラブ2名以上の新会員の獲得に向けて引き続き、よろしくお願い致します。また、退会者を少なくするために、入会間もない会員への配慮をお願いします。

会津の先人たち(会津若松市HPより)

医師を超えた人

渡部 鼎(わたなべかなえ)
(1858~1932)

鼎の後半生

鼎は明治22年に欧州を周遊して、医学のみならず各国の社会事情も研究します。しかしその翌年には、思齋の死により帰国します。その後、郷土の要望で若松町に会陽医院を開業し「渡部ドクトル」として名が広まり、全会津から患者が集まりました。英世が手術を受けたのもこのころで、明治25年、英世が16歳の時のことです。

明治39年、上京した鼎は青山南町に日本初のラジウム治療病院を開業します。しかし患っていた胃病の保養を兼ねて大正6年には若松に戻り、桂林寺町に再度開業します。

医師以外の業績

鼎は、ほかにもさまざまな業績を挙げています。明治18年、27歳の時には「婦人束髪(そくはつ)会」を結成、それまでの婦人の髪形では不衛生、不自由だとして現代のような髪形を提唱し、講演や新聞で日本中に広めています。また明治33年ごろ、立憲政友会福島支部ができるとその幹部となり、同35年と翌年の総選挙に若松市選挙区から立候補して、衆議院議員も務めました。

次回はアメリカ移民日本女性第一号

おけい(出生不詳~1871)

◆ 今後の予定 ◆

- ◇3月例会 3月14日
ゲストスピーチ例会
- ◇ユニークダンス
3月28日 午後7時~
場所:アガッセ